

2017年9月26日

投資家の皆様へ

日興アセットマネジメント株式会社

「公社債投信」の基準価額について

平素は、日興アセットマネジメントの投資信託をご愛顧くださりまして、誠にありがとうございます。

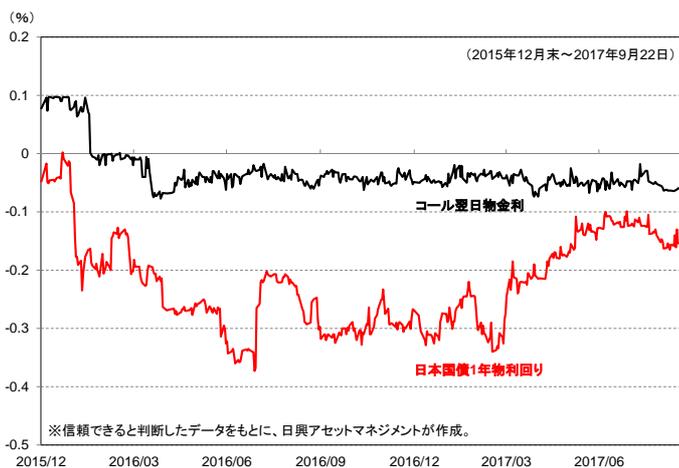
さて、2016年1月の日本銀行による「マイナス金利政策」の導入決定以降、国内の金利水準は急速に低下し、公社債市場においてはマイナス利回りによる取引も散見されております。

「公社債投信」は、信用度が高く残存期間の短い公社債および短期金融商品を中心に投資し、高い流動性と信託財産の安全性を優先した運用を行なうことを基本としております。しかし、マイナス金利政策導入後の公社債市場において、「公社債投信」の主な投資対象はマイナス金利となり、これらの組み入れによりファンドの収益力は大きく低下しておりました。そして本年9月25日、「公社債投信1月号」から「同12月号」までの基準価額が、下表の通り1万口当たり10,000円を割り込む結果となりました。

次ページ以降に、「公社債投信」に関するQ&Aを載せております。ご参考としてご覧くださいようお願い申し上げます。

(ご参考)

日本の短期金利の推移



基準価額(2017年9月25日現在)

ファンド名	基準価額
公社債投信1月号	9,999円
公社債投信2月号	9,999円
公社債投信3月号	9,999円
公社債投信4月号	9,999円
公社債投信5月号	9,999円
公社債投信6月号	9,999円
公社債投信7月号	9,999円
公社債投信8月号	9,999円
公社債投信9月号	9,999円
公社債投信10月号	9,999円
公社債投信11月号	9,999円
公社債投信12月号	9,999円

Q1. 「公社債投信」とは、どのようなファンドですか？

A.

「公社債投信 1 月号」、「公社債投信 2 月号」、・・・「公社債投信 12 月号」の 12 本あり、それぞれ 1961 年 1 月から 12 月にかけて設定、これまで 50 年以上運用を続けている非常に歴史のあるファンドです。

実質的に国債、地方債、金融債などの公社債などに投資するファンドで、元本の安全性と高い流動性を維持するために、信用度が高く残存期間の短い公社債や短期金融資産を中心に投資します。株式や外貨建資産への投資は行ないません。

日々決算を行なう「日興 MRF」と異なり、「公社債投信 1 月号～12 月号」はそれぞれ年 1 回決算を行ないます。月号毎に毎年 19 日（19 日と 20 日のいずれかが休業日の場合、19 日以降の営業日で翌日が営業日である日のうち 19 日に近い日）の決算日に、運用収益の全額（基準価額 1 万口当たり 10,000 円を超える部分）を収益分配金としてお支払いします。決算時の基準価額が 1 万口当たり 10,000 円以下の場合には収益分配を行ないません。

追加型の投資信託ですが、購入は月号毎に原則として決算日の約 1 ヶ月前から決算日までの期間のみ受け付けます。例えば 2017 年の「公社債投信 10 月号」は 9 月 20 日（9 月号の決算日の翌日）から 10 月 19 日（10 月号の決算日）までが購入の申込期間といったように、月号毎に購入できる期間が定められています。（現在は、購入の申込受付を停止しています。詳しくは、Q3をご参照ください。）

「公社債投信 1 月号～12 月号」は、2001 年 3 月に設定された「公社債投信 3 月号」までは募集時に予想分配率（額）を提示していましたが、同年 4 月に設定された「公社債投信 4 月号」以降は実績分配型に移行されました。

換金はいつでも申込むことができます。ただし換金時には、以下の通り、購入時期に応じて設定されている換金手数料がかかります。

購入時期	1 万口当たりの換金手数料
1962 年 4 月 20 日以前	27 円（税抜 25 円）
1962 年 4 月 21 日以降 2001 年 4 月 19 日以前	108 円（税抜 100 円）
2001 年 4 月 20 日以降 2002 年 4 月 22 日以前	10 円 80 銭（税抜 10 円）
2002 年 4 月 23 日以降 2017 年 7 月 19 日以前	2 円 16 銭（税抜 2 円）
2017 年 7 月 20 日以降	2 円 16 銭（税抜 2 円）以内の販売会社が定める額

※ 購入時期によって換金手数料が異なるのは、金利水準等の運用環境が一定ではないためです。

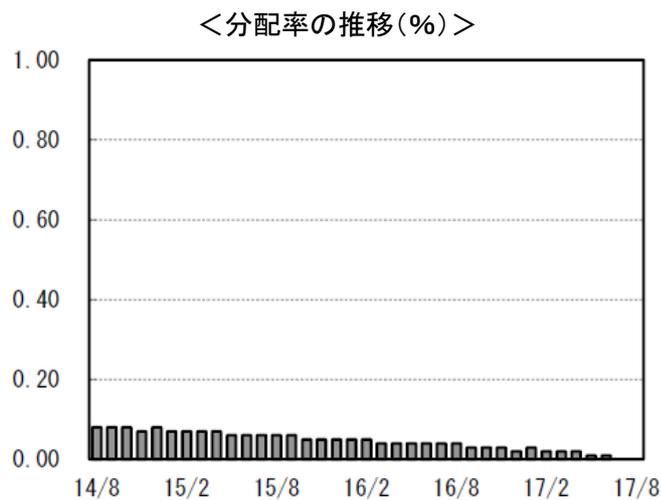
※ 販売会社によっては、投資家が保有する受益権総口数のうち一部の換金を申し込む際、購入した時期を指定できる場合があります。

Q2. 現在の運用状況について教えてください。

A.

当ファンドは、元本の安全性と高い流動性を維持するために、信用度が高く、残存期間の短い公社債および短期金融資産を中心に投資します。原則として、残存1年以内の債券などを中心に投資を行ない、元本の安全性を重視した運用を行ないます。ただし、金融環境などの変化に弾力的に対応するため、残存1年超5年以内の債券に投資し、中長期的に元本の安全性に配慮し、収益性を追求する運用を行なうこともあります。

直近の分配率は、2017年9月19日に決算を迎えた「公社債投信9月号」で年率0.00%（分配金は1万口当たり0.43円）でした。過去3年間の分配率の推移は、下グラフの通りです。



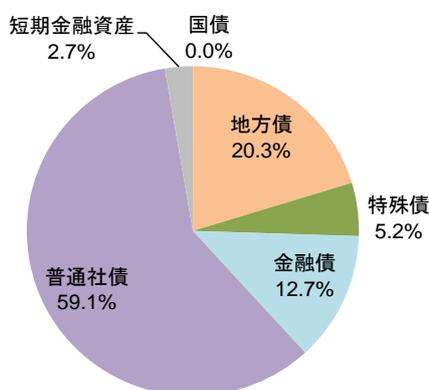
※2014年8月～2017年8月。

※分配率は、分配金の計算期末の1万口当たりの基準価額(10,000円)に対する割合です。

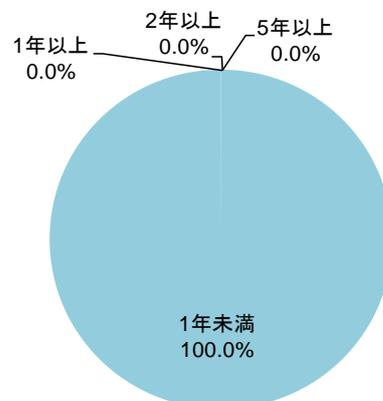
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

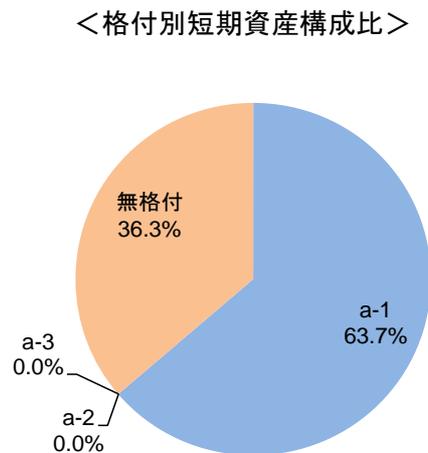
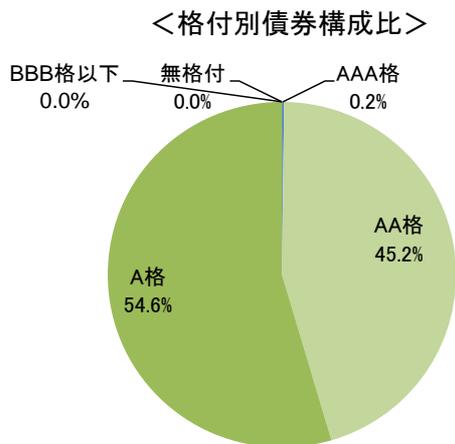
ポートフォリオの内容は、マンスリーレポートなどで確認できます。「公社債投信9月号」の債券の種類別組入率、残存期間別構成比、格付別構成比は下グラフの通りで、信用度が高く、残存期間が短い公社債中心のポートフォリオとなっています。

＜債券の種類別組入率＞



＜残存期間別構成比＞





※データは、2017年8月末現在。

※マザーファンドの組入れがあるファンドは、比例配分し、反映しています。

※変動利付債の残存年数は、次回利払い日までの日数で換算しています。

※格付は、国内発行体はR&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの順、海外発行体はMoody's、S&P、Fitch、R&I、JCRの順に優先して適用しています。日本の国債、政府保証債は、長期格付をAA格、短期格付をa-1格、格付を付与されていない地方債はA格に含めています。格付は、R&Iの表記方法で記載しています。

Q3. 「公社債投信」は、購入の申込受付の停止や償還をすることはありますか？

A.

既に日興アセットマネジメントでは、2016年の「公社債投信5月号」以降の各月号の購入の申込受付を停止(※)しております。

「公社債投信1月号～12月号」は、財形貯蓄制度における対象ファンドとして利用されていることから、投資家の利便性に鑑み、現時点におきましては繰上償還の決定はいたしていません。

※分配金の再投資、財形貯蓄制度、定時定額・積立投信による購入については申込受付をしています。

Q4. 「公社債投信」はこれまで通り換金できますか？

A.

換金のお申込みは通常通り受付いたします。

ただし換金時には、購入時期に応じて設定されている換金手数料がかかります。換金手数料はQ1をご参照ください。

以上